



大きいジャガ イモ取れたよ

たかおかこども園

富士市厚原の「たかおかこども園」は17日、ジャガイモ掘りを同園近くの畑で実施した。年長児61人がクラスごとに分かれ、つるを引つ張ったり、畝の土を取り除いたりしてジャガイモを発掘。「すごく大きいのが取れた」「土の中から次々に出てくる」「いろいろな形があつて面白い」などと歓声を上げながら見せ合い、仲間と一緒に作業を楽しんだ。

園児たちは例年、収穫したジャガイモの皮むきなどを手伝い、カレー作りにも挑戦している。今年は新型コロナウイルスの感染を予防するため調理は行わず、給食室に届けるまでを体験。カレーライスやフライドポテト、ポテトサラダなどの給食に使用される。

ジャガイモの栽培は食育の一環として5年ほど前から取り組んでいる。今年から園児の祖父で野菜を栽培している小林由明さんが、施肥や畝作り、新芽の間引きなどを職員にアドバイス。園児たちも水やりや草取りなどをしながら、ジャガイモの成長を見守ってきた。このほか、キュウリやトマト、ピーマン、カボチャなど、さまざまな野菜を育てている。

小林さんは「自然の中で土に触れ、自分の育てた野菜を味わい、収穫の喜びを感じてほしい」と思いを話した。副園長の渡邊唯可美さんは「小林さんの協力で今年は例年を上回る収穫量になった」と振り返り、「野菜が苦手な子供も、自分で育てた野菜は喜んで食べてくれる。体験を通じて野菜が好きになり、食に関心を持つてもらえれば」と期待する。